

PFAS規制のリスクに備える！

国内外の規制動向から最新の検出・除去技術まで

PFAS[※]は撥水性、難燃性などの多様な特性から、多くの製造現場で使われてきました。

しかし、近年では環境残留性や健康への影響などの懸念から規制が急速に強化されています。

※ペルフルオロアルキル及びポリフルオロアルキル化合物

本講演では、PFASの化学的性質や国内外の環境規制動向などの基礎知識とともに、今後の製造業に関わるポイントを紹介します。また、PFASの検出・除去・分解技術について最新の動向を解説します。

このような悩みをお持ちの企業様におすすめ

- ✔「うちは関係ない」と思っているけど本当に大丈夫？
- ✔顧客から「PFASは使用していますか？」と問い合わせがあったが、どう対応すれば良いか分からない。
- ✔今後の規制強化で欧米への輸出にどのような影響がある？
- ✔PFASの代替技術の動向や課題は？

協力：地方独立行政法人 大阪産業技術研究所

2026 **10/8** 木
15:00～16:30

堺市産業振興センター
4F セミナー室1

定員 20名 (先着順)

受講料 無料

対象 堺市内に本社または
主な事業所がある中小企業

講師

主任研究員 柿倉 泰明 氏

地方独立行政法人
大阪産業技術研究所
本部・和泉センター

応用材料化学研究部
環境化学・バイオ研究室

お問い合わせ

公益財団法人 堺市産業振興センター 経営支援課
TEL：072-255-6700
E-mail：keiei_shien@sakai-ipc.jp

お申込みは
こちら ➡

